

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。取扱説明書、本体ラベル、表示等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合、弊社所定の方法で交換いたします。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - (6)譲渡や中古販売・オークション・転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書

山陽トランスポート有限会社

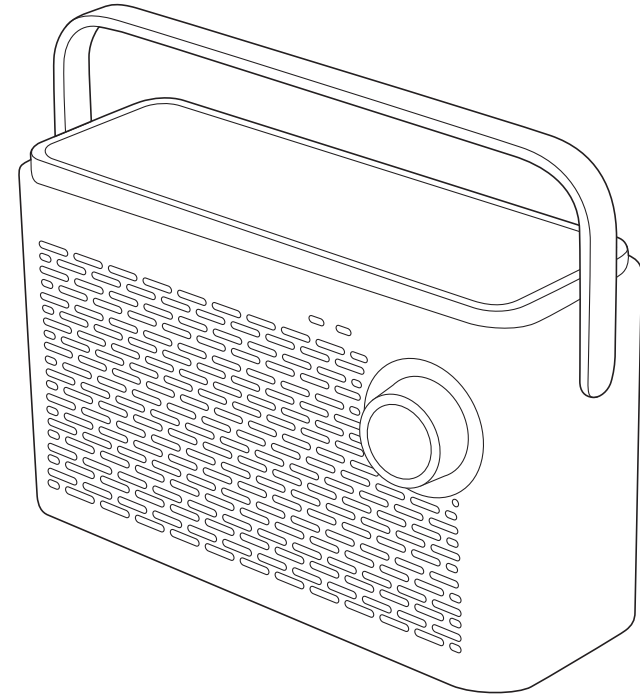
型番 EEX-LDSP04 シリーズ		シリアルナンバー
お客様	お名前	
	ご住所	〒 TEL
販売店	販売店名・住所・TEL	
担当者名		
保証期間 6ヶ月	お買い上げ年月日	年 月 日

TV用ワイヤレススピーカー EEX-LDSP04シリーズ取扱説明書

この度は、TV用ワイヤレススピーカー「EEX-LDSP04シリーズ」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

※本製品をご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

- 本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。
- 本書の内容についてのご質問やお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。
- 本書の内容については予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のもものと異なることがあります。



Ver.1.0

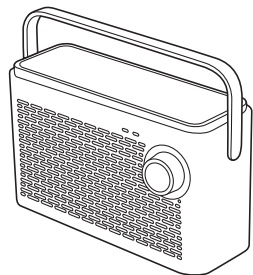
山陽トランスポート有限会社

店舗名: イーサプライ <https://www.esupply.co.jp>
岡山県倉敷市児島榎田町1861 TEL: 086-473-9152

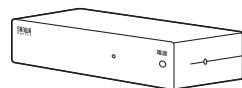
BJ/AG/KIDa

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

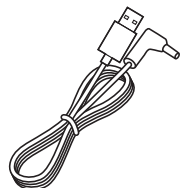


①スピーカー(受信機)

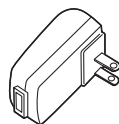


②送信機

スピーカー(受信機)用

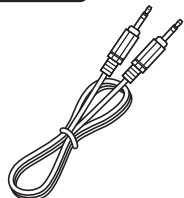


③スピーカー本体充電用ケーブル

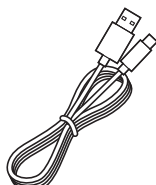


④ACアダプタ(USB-AC変換)

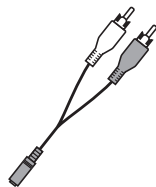
送信機用



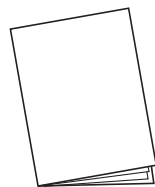
⑤3.5mmステレオミニプラグ(オス・オス)ケーブル



⑥送信機用給電ケーブル



⑦3.5mmステレオミニプラグ-RCA(赤白)変換ケーブル



⑧取扱説明書・保証書(本書)

※欠品や破損があった場合は、品番(EEX-LDSP04BKなど)と上記の番号(①~⑧)と名称(ACアダプタなど)をお知らせください。

目次

安全のために

使用上の注意・警告	3
制限事項	3
良好な通信を行うために	3

特長・各部名称

特長	4
各部の名称	5

テレビの音を聞く

送信機を設置する	7
スピーカーを充電する	8
スピーカーでテレビの音を聞く	9
テレビからも音を出すようテレビの設定を変更する	10

電源を切る

スピーカーの電源を切る	11
-------------	----

その他の使い方

ヘッドホンを接続する	12
スマートフォンなどの音を聞く	12

困ったときは、他

困ったときは	13
仕様	13
ペアリングについて	14
保証規定・保証書	15

使用上の注意・警告

■取扱上の注意

- 本製品は電気で動作しておりますので、発火する危険があります。万一煙が出たり異臭がした場合は、本製品及び接続しているパソコンや機器の電源を切り、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。
- 雷が鳴っているときに、本製品やケーブルに触れないでください。
 - ▲落雷により感電する恐れがあります。
- 本製品のカバーを開けたり、分解しないでください。
 - ▲故障や感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で本製品やケーブルに触らないでください。
 - ▲本製品がパソコンに接続されているときには、感電する恐れがあります。
- 本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。
 - ▲感電や火災、故障の原因となることがあります。
- 本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。
 - ▲故障・破損などの原因となることがあります。
- 本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ホコリや油煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管しないでください。
 - ▲故障・感電などの原因となることがあります。
- 本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置かないでください。
 - ▲火災や故障の原因となることがあります。
- 本製品は不安定な場所に設置したり、保管しないでください。
 - ▲落下により故障・破損の原因となることがあります。
- 本製品のケーブルを抜き差しするときは、必ずコネクタ部分を持ち、無理な力を加えないでください。
 - ▲故障・破損などの原因となることがあります。
- 本製品のケーブルや接続する機器のケーブルは、家具で踏んだり、扉で挟まないでください。またこれらのケーブルを引っ張ったり折り曲げないでください。
 - ▲火災や故障の原因となることがあります。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
 - ▲塗装を傷めたり、故障の原因になることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
 - ▲定期的にバックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 本製品は日本国内用に作られております。日本国外では使用できません。

制限事項

- 対応機種、対応接続機器・環境の場合であっても接続環境・機器の組み合わせ・相性問題により動作しないことがあります。
- 全ての機器・製品に対応することを保証するものではありません。

良好な通信を行うために

- 他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体(接触した状態)などを挟むと、雑音が入ったり通信不能な場合があります。
- Bluetooth対応のヘッドホン・ヘッドセット・スピーカーなどの音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続し使用した場合、音楽や音声途切れることがあります。
- 無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

特長

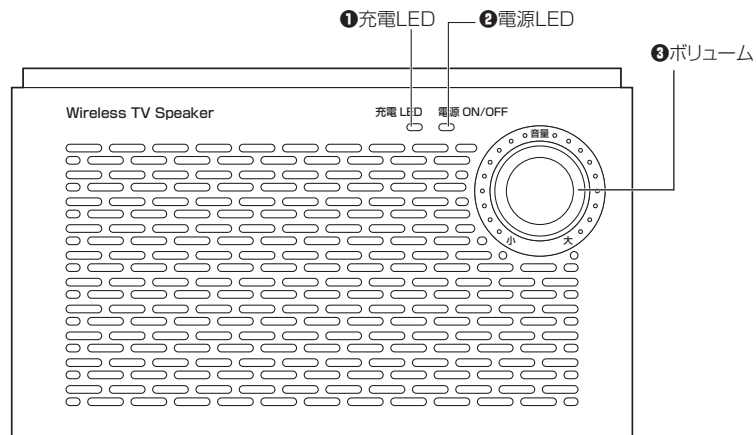
ワイヤレスでどこでも自由に設置。 聞き取りにくいTVの音声を手元耳元ではっきりと 聞くことができるTV用ワイヤレススピーカー。

- テレビの音量を上げることなく、手元のみで音声出力をしてテレビを楽しむことができます。
 - ※テレビの仕様によってはテレビからの通常音声出力をしたまま、延長先の手元スピーカーからも音声出力することができます。
 - 家族が使う普段の音量ではニュースなどが聞き取れない、音量を上げると周りに迷惑をかける、などの状況で非常に便利です。
- 最大約30mまでワイヤレスで音声伝送することができます。
- ワイヤレスタイプなのでケーブルの取り回しが不要。リチウムイオンバッテリー内蔵で自由に持ち運び、設置ができます。
- トランスミッター(送信機)はUSB給電仕様なのでテレビのUSBポートからの給電で動作します。
 - ※ACアダプタ(USB-AC変換)を使用することで電源コンセントからの常時給電も可能です。
- キッチンでの使用や、夜間家族に迷惑がかけられない環境で、手元のみで音声を楽しむ際にも最適です。
- 企業でのテレビ会議などで相手の声が聞こえにくい、周りへの配慮があり音量が上げにくい、などの状況でも手元でしっかりと音声を聞くことができます。
- スピーカー背面にテレビでの音声聞き取りに適したTVモードと、音楽などを視聴する際に適した音質切替えスイッチを搭載。好みに合わせて選択ができます。
- 前面のボリュームコントロールは操作性が高い大型コントロールを採用しています。
- 持ち運びにも便利な取っ手付き。未使用時はスッキリ畳むことができます。
- スピーカー部にはヘッドホンジャックも搭載しており、ヘッドホンを接続することでワイヤレス伝送した音声をヘッドホンで聴くことも可能です。
- テレビとの接続は3.5mmステレオミニプラグ接続だけでなく、RCAコンポジット(赤白)での接続も可能です。

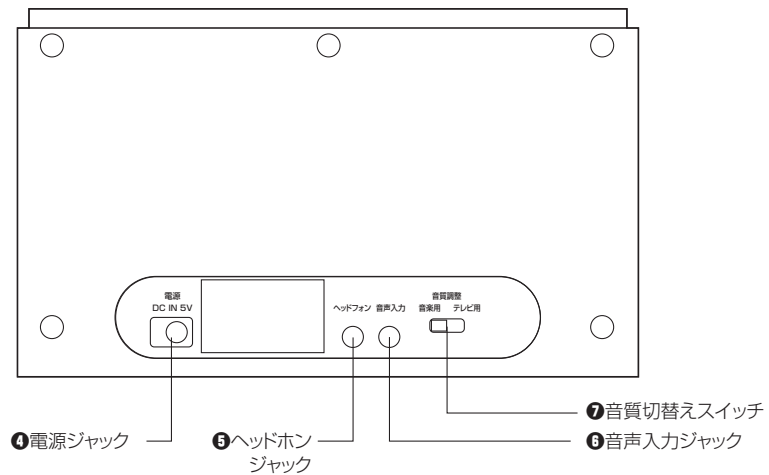
各部の名称

①スピーカー本体(受信機)

【前面】

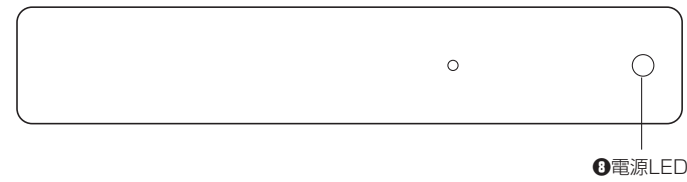


【背面】

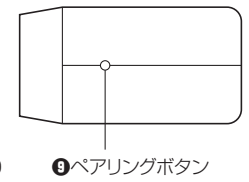


②送信機

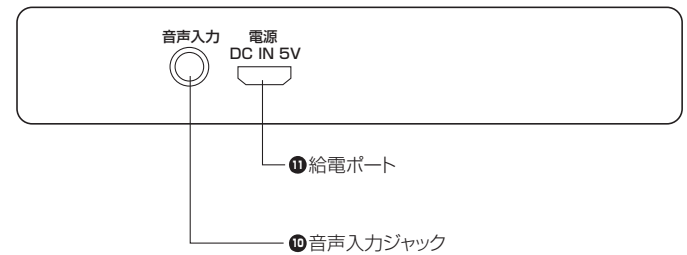
【前面】



【側面】



【背面】

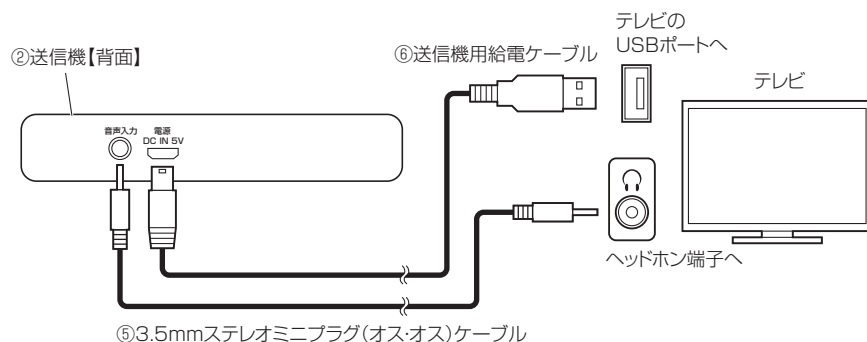


テレビの音を聞く

スピーカーからテレビの音を聞くことができます。

1 送信機を設置する

- ⑥送信機用給電ケーブルを②送信機とテレビのUSBポートに接続し、通電させます。
- ⑤3.5mmステレオミニプラグ(オス・オス)ケーブルで接続します。



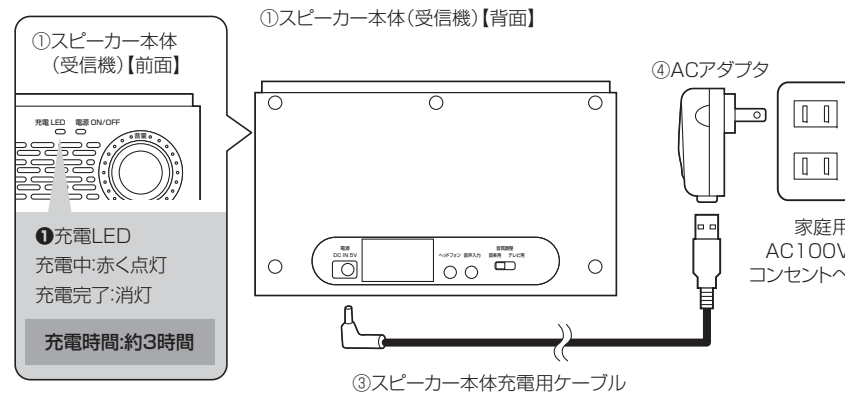
●テレビにUSBポートがない場合は市販のUSB-AC変換アダプタを使用してAC電源から給電することも可能です。(別途ご購入ください)

●送信機は底面の両面テープでテレビ台などに固定することができます。

2 スピーカーを充電する

❗ はじめて本製品を使うときは充電してください。

- ①スピーカー本体(受信機)を付属の③スピーカー本体充電用ケーブル、
- ④ACアダプタを使用して充電してください。充電中は①充電LEDが赤く点灯します。充電LEDが消灯すると充電完了です。

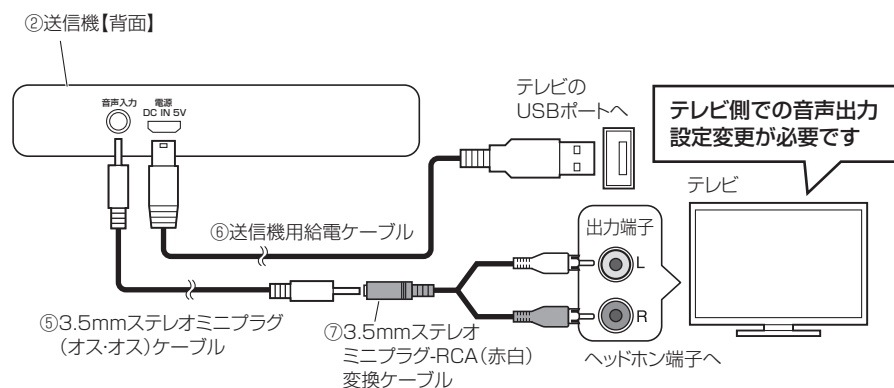


❗ バッテリー残量が減るとLEDが緑に点滅します。
③スピーカー本体充電用ケーブルを接続して再度充電を行ってください。

テレビの外部音声出力がRCA(赤白)オーディオの場合は付属の⑦3.5mmステレオミニプラグ-RCA(赤白)変換ケーブルをご使用ください。

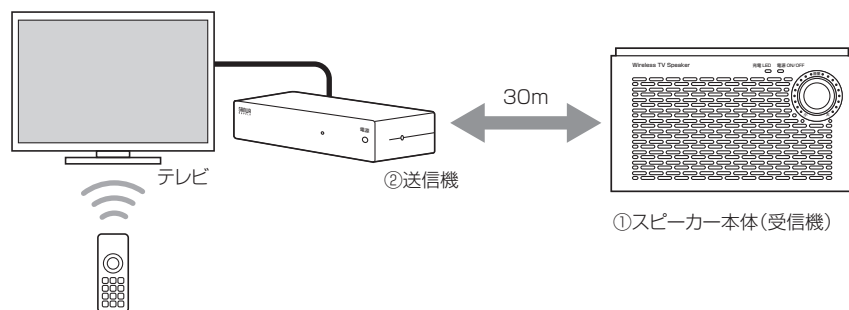
❗ テレビの仕様によって、テレビ本体のスピーカーと音声出力の同時出力や、どちらか片方だけを出力するなどの設定が可能な機種があります。詳しくはテレビ側の取扱説明書をご覧ください。

RCA(赤白)の出力端子であることを確認してください。



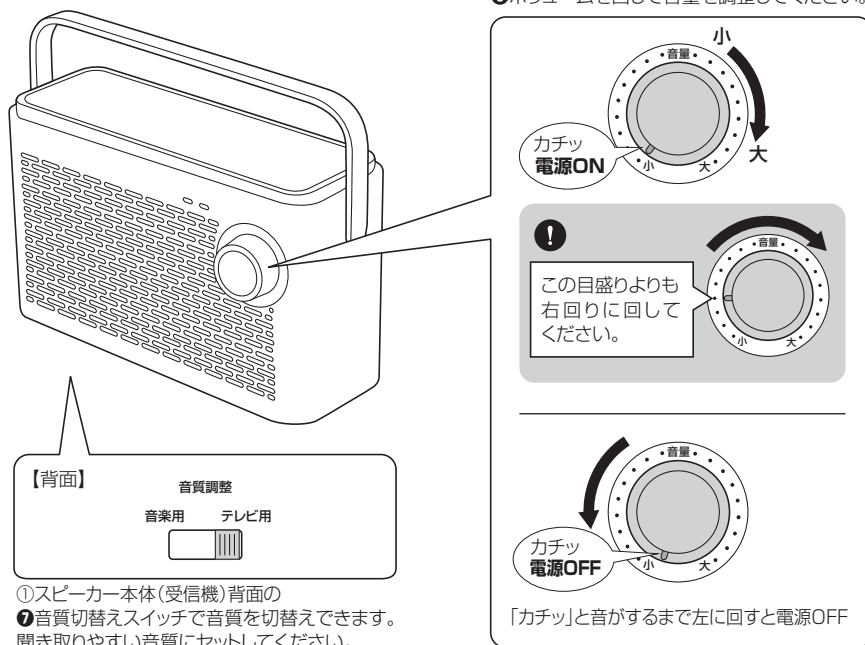
3 スピーカーでテレビの音を聞く

テレビの電源を入れ、①スピーカー本体(受信機)を使用したい場所に設置します。
①スピーカー本体(受信機)と②送信機の距離は約30m以内まで設置可能です。
(環境により異なります)



①スピーカー本体(受信機)の③ボリュームを右に回すと、電源がONになり受信を開始します。(電源LEDが水色に点灯します)

③ボリュームを回して音量を調整してください。



①スピーカー本体(受信機)背面の
⑦音質切替えスイッチで音質を切替えできます。
聞き取りやすい音質にセットしてください。

4 テレビからも音を出すようテレビの設定を変更する

本製品をテレビのヘッドホン端子に接続すると、通常はテレビからは音は出なくなります。
(テレビのヘッドホンジャックにヘッドホンを接続した状態と同じです)
テレビからも同時に音を出すためには、テレビの設定の変更が必要です。

テレビのメーカー	主な設定方法
ソニー	「設定」-「音質・音声設定」に「ヘッドホン・音声外部出力設定」がある場合は、「ヘッドホン」に設定されていることを確認し、「ヘッドホン使用時設定」を「スピーカー・ヘッドホン併用」にする。
パナソニック	「スピーカーとイヤホン音声の同時出力」を「する」にする。
シャープ	「ヘッドホン」を「モード2」にする。
東芝	「ヘッドホン用出力モード」を「親切モード」にする。
日立	「ヘッドホンモード」を「2」にする。
三菱	「スピーカー音声同時出力」を「入」にする。

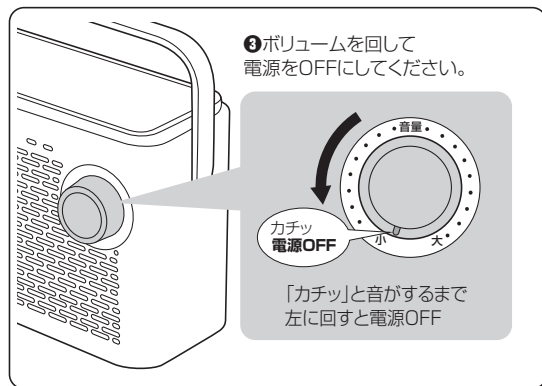
※テレビメーカー・機種により設定方法が異なります。
詳しくはテレビ側の取扱説明書をご覧ください。
※テレビのヘッドホン端子接続時にテレビから音が出せない機種もあります。
(外部スピーカー(ヘッドホンなど)とテレビスピーカーの同時出力ができないテレビ機種)

電源を切る

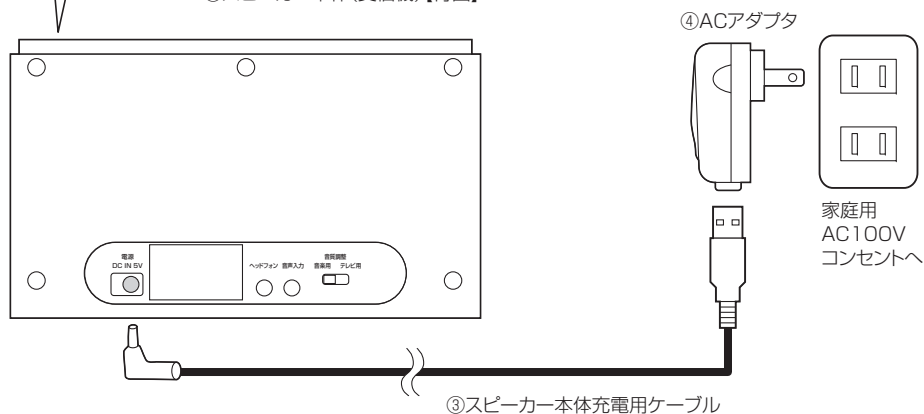
使い終わった後はスピーカーの電源を切ってください。

- ①スピーカー本体(受信機)の充電が低下すると、①充電LEDが緑に点滅します。
- ③スピーカー本体充電用ケーブルを接続して再度充電を行ってください。

①スピーカー本体(受信機)【前面】



①スピーカー本体(受信機)【背面】

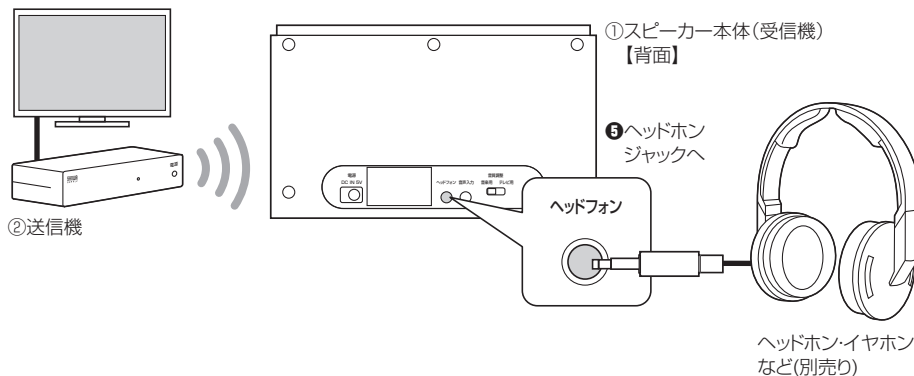


その他の使い方

ヘッドホンを接続する

テレビから離れた場所でヘッドホン・イヤホンを使用できます。

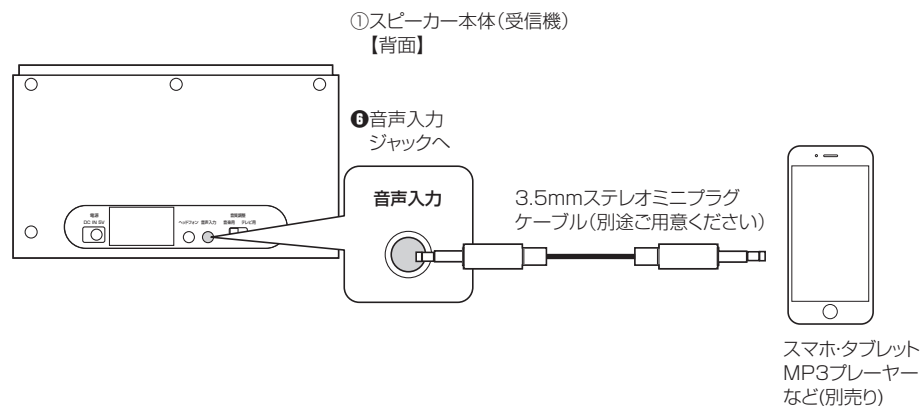
- ①スピーカー本体(受信機)背面のヘッドホンジャックにヘッドホン(イヤホン)を接続します。テレビから離れた場所でヘッドホン・イヤホンを使用することができます。



スマートフォンなどの音を聞く

音声入力ジャックが搭載されたスマートフォン・タブレット・MP3プレーヤーの音を聞くことができます。

- ①スピーカー本体(受信機)背面の⑥音声入力ジャックにスマートフォンなどを接続します。



困ったときは

症状	対処
スピーカーを接続しても音が出ない。テレビからは音が出ている。	一度テレビ以外のスマートフォンやMP3プレーヤー、ラジオのヘッドホン接続ポートに本製品を接続しお試しください。正常に音声が出力された場合は本製品の故障の可能性は低く、テレビ側の設定変更が必要な可能性があります。
	テレビの音声出力設定が、テレビ本体のスピーカー出力のみに設定されている可能性があります。テレビの取扱説明書をご覧ください、外部音声出力を開始するよう設定を行ってください。
	スピーカー本体(受信機)と送信機が無線で通信するにはペアリングが必要です。本製品はペアリング済みの状態で出荷しておりますので、基本的に下記の操作は不要ですが、誤ってペアリングが解除されてしまった場合には下記手順で再度ペアリングしてください。 ペアリングについて→P.14
テレビからの音声がなくなりました。スピーカー本体からしか音が出ない。	テレビの仕様がヘッドホン(イヤホン)出力などの外部出力とテレビ本体のスピーカー出力が同時に行える機種かどうかをご確認ください。テレビの機種によっては同時出力ができないものがあります。同時出力が可能な機種の場合はテレビの取扱説明書をご覧ください、同時出力の設定を行ってください。

仕様

スピーカー本体(受信機)

運用電波帯域	920.6MHz~925MHz
通信可能距離	約30m(※障害物のない環境の場合。環境により異なります)
最大出力	5W
電源	内蔵リチウムイオン電池(3.7V/1000mAh)
充電時間	約3時間
連続使用時間	約8時間程度(※中間音量で使用した場合)
外部出力	3.5mmヘッドホンジャック
サイズ・重量	W162×D58×H128mm・約446g

送信機

運用電波帯域	920.6MHz~925MHz
電源	USBポートより供給(DC5V/0.5A) (USB-AC変換アダプタの使用で電源コンセントからの給電にも対応。)
入力端子	3.5mmステレオミニジャック
サイズ・重量	W100×D36×H19 mm・約32g

ペアリングについて

本製品は工場出荷時に既にペアリング調整が行われています。再度ペアリングするには、次の手順で設定してください。

1 送信機のペアリングスイッチを3秒以上押す

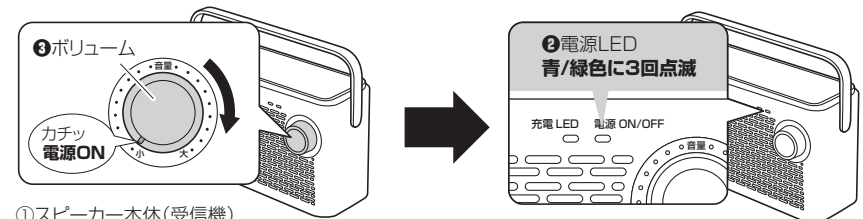
まっすぐに伸ばしたゼムクリップなどの先の細い道具を使用して、②送信機側面にある①ペアリングボタンを3秒以上押します。
②送信機の③電源LEDが緑色に点滅します。



❗ ※ペアリング作業は送信機とスピーカー本体(受信機)の距離が近い状態で行ってください。

2 スピーカー本体(受信機)の電源をONにする (既に電源が入っている場合は一旦電源を切ってから再度電源を入れてください。)

①スピーカー本体の④電源LEDが青/緑色に3回点滅し、自動的にペアリングを開始します。



3 再度送信機のペアリングボタンを押す

②送信機の電源LEDが緑の点滅から点灯に変わり、
①スピーカー本体(受信機)の④電源LEDが青色に点灯したら、ペアリング完了です。

❗ 緑色に点灯する場合はペアリングに失敗しています。再度ペアリングを実行してください。

